

名古屋市の消防



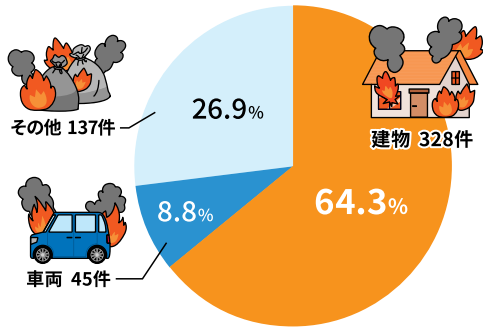
「火」は生活に欠かせないものですが、扱い方を間違えると「火災」となり、大切な家やかけがえのない命を奪う危険があります。また、地震などの災害、事故や病気など身の周りにはいろいろな危険が潜んでいます。私たちの暮らしを火災から守り、けがや病気から命を救うために働いている消防署の仕事を知りましょう。そして普段からどのようなことに気を付ければよいか一緒に学んでいきましょう。

1 名古屋市の火災の状況 P. 1	9 火災などを予防するための仕事 P. 8
2 名古屋市の救急出動の状況 P. 1	10 家庭での火災予防 P. 9
3 名古屋市の消防施設 P. 2	11 もしも火災が起きたら P. 10
4 119 番通報から出動まで P. 3	12 もしも誰かが倒れたら P. 12
5 火災の現場 P. 4	13 もしも地震が起きたら P. 13
6 消防隊の仕事 P. 5	14 地震に備える P. 14
7 救助隊の仕事 P. 6	15 名古屋市の消防団 P. 15
8 救急隊の仕事 P. 7	16 消防についてより詳しく知る P. 16



1

なごやし かさい じょうきょう 名古屋市の火災の状況



名古屋市では、令和6年中、510件の火災が起きました。
510件のうち約64% (328件) が建物、そのうち約62% (203件) が住宅から起きています。建物が燃える火災以外には、車や枯草、ごみなどが燃える火災が起きています。

火災で亡くなった人

10人

火災でけがをした人

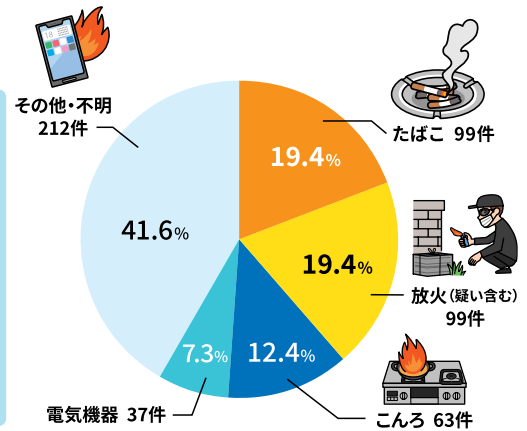
105人

燃えたものの金額

約4億900万円

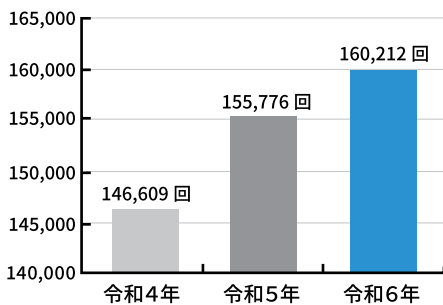
火災の原因

火災の原因を調べてみると、1番多かったのは「たばこ」と「放火」でした。3番目は「こんろ」、4番目は「電気機器」で、ゲーム機やスマートフォンが原因で火災が起きることもあるので、落とすなど強い衝撃を与えない、夏の車の中など温度が高くなる所に置かないなど、十分に注意が必要です。



2

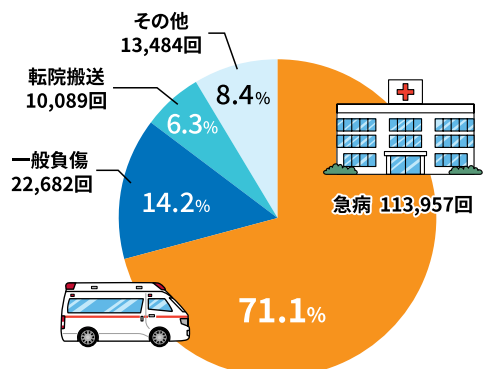
なごやし きゅうきゅうしゅつどう じょうきょう 名古屋市の救急出動の状況



名古屋市では、令和6年中、160,212回救急車が出動しました。これを1日の平均にすると約438回となり、3.3分に1回出動したことになります。出動回数は、この3年間でどんどん増えています。

救急出動の種別

救急車が出動した理由として、1番多かったのは「急病」でした。2番目は「一般負傷」で、けがのことをいいます。3番目は「転院搬送」です。「転院搬送」とは一度診察を受けた病院から治療できる別の病院へ患者さんを急いで運ぶための出動です。

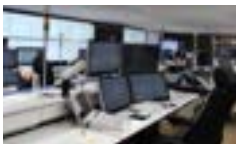


しょうぼうこうくうたい
消防航空隊

あいちけんぜんいき きゅうじょ きゅうきゅう
愛知県全域の救助、救急、
しょうか しょうぼうしゅうしゅうかつどう き
消火、情報収集活動を3機の
ヘリコプターで行っています。
（うち1機はあいちけん
き あいちけん
のものです。）

しょうぼう
消防学校

さいよう しょうぼうかん
新しく採用された消防官や、
しょうぼうしよ はいぞく しょうくいん たい
消防署に配属された職員に対
してせんもんてき きょういく きょうよう
専門的な教育・教養を行っ
ています。

しょうぼうきょく
消防局ぼうさいしれい
防災指令センター

なごやしやくしよないほんぶ
名古屋市内に本部
の機能があります。また、
119番通報を受信する
「防災指令センター」があ
ります。

とくべつしょうぼうきゅうじょたい
特別消防救助隊
ハイパーレスキュー NAGOYA

せんもんてき ちしき ぎじゅつ か そな
専門的な知識と高い技術を兼ね備えた
きゅうじょたいいん こうせい ぶたい
救助隊員で構成された部隊です。市内に5つ
ある庁舎のうち、港区にある第5庁舎には、
かさい たいおう とくしゅ きかい
船の火災などに対応するための特殊な機械を
つ しょうぼうてい しきてい
積んだ消防艇や指揮艇があります。



だい ちようしゃ しょうぼうてい きんりゅう
▲第5庁舎にある消防艇「金竜」

しょうぼうしゅつちようじょ
消防出張所

しょう しょうぼう
市内の44か所に消防
しゅつちようじょ
出張所があります。

なごやししょうぼうきょく しょうぼうしゃ りょうきゅうきゅうしゃ りょう こうくうき き せんぱく てい も
名古屋消防局は、消防車222両、救急車67両、航空機2機、船舶2艇を持っています。
1,500リットルの水を積んだ「タンク車」をすべての消防署と消防出張所に配置することで
5分以内に火災現場に到着し、すぐに消火活動を行えるようにしています。

名古屋市から119番通報はすべて名古屋市役所の中にある「防災指令センター」につながります(注)。119番通報を受けた防災指令センターは、消防車や救急車に出動の指示を出します。防災指令センターの重要な役割は、火災や事故が起きた場所を正しく・素早く把握し、いち早く現場に消防車や救急車を到着させることです。

(注) 令和7年度から、瀬戸市、津島市、尾張旭市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町及び飛島村からの119番通報も名古屋市の防災指令センターにつながります。

火災現場



救急現場



救助現場



119番通報



出動指令

出動から
到着まで
約5~6分



支援情報

(例) 火災や事故の状況
周辺の交通情報や気象情報

その他の緊急通報

耳が聞こえない人や話することができないなどの障がいのある人は、スマートフォンなどを使って音声を使わずに119番通報できるシステム(Net119緊急通報システム)もあります。そのほかにFAX、メールで119番通報することもできます。



119番通報以外の情報

防災指令センターでは119番通報の内容以外にも高所監視カメラやヘリコプターなどから情報を集めて、現場に向かう隊員に無線などで情報を送っています。

画像伝送システム



大きな災害が起きたときは、市内3か所に設置されたカメラや消防ヘリコプターから撮影した映像で、災害現場の状況をかくにん確認することができます。



119番映像通報機能

119番通報をした人が撮影した映像を、防災指令センターで確認できる機能です。言葉では伝わりにくい災害現場の状況を映像で確認することができます。

火災の現場では、消防署だけでなく、消防団、警察署、ガス会社、電力会社など
さまざまな人が協力して、活動しています。

消防署

消火活動をしたり、逃げ遅れた人を助けたり、けがをしている人を病院に運んだりします。



消防団

消防隊と協力して消火活動などを行います。

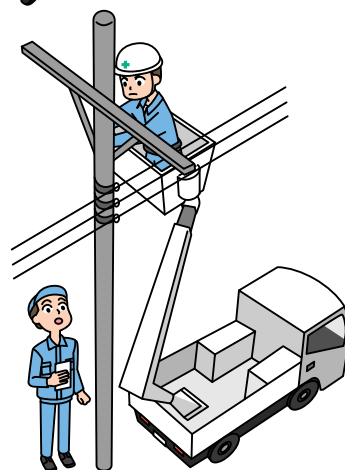


警察署

現場の近くに人が近づかないようにします。

ガス会社

ガスがもれて爆発が起きないように、ガスの栓を閉めます。



電力会社

電線が切れて感電しないように電気を止めます。

しょうぼうたい おも しごと かさい げんば け
消防隊の主な仕事は、火災の現場で火を消すことです。

しょうぼうしゃ つ どうぐ 消防車に積んである道具

タンク車は、火災の現場に着いたらすぐに放水できるように、消火用の水を 1,500 ℓ (バケツ 190 杯分) 積んでいます。

ホース・管そう

しょうぼうしゃ かさい お
消防車から火災が起きている
場所に水を運び、放水し
ます。



きゆうすいかん 吸水管

しょうかせん
消火栓や川から水を吸い上
げることができます。



タンク車

しょうめいき 照明器具

ち か かい くら かさい
地下街や暗い火災
現場を明るく照らし
て、活動しやすくし
ます。



ホースカー

しょうぼうしゃ
ホースを消防車から
遠くまでのばすとき
に使います。



はしご

かい くら いま まで 届き、
人を助け出したり、
高いところの火を消
すときに使います。



しょうぼうたい み つ 消防隊が身に着けているもの

しころ

ほのお まも
顔や耳を炎から守ります。

ぼう かい 防火衣

ねつ そざい
熱にも強い素材でできていま
す。腰には命綱がついていま
す。

むせん き 無線機

げんば じょうほう つた たいいん
現場の情報を伝えるなど隊員
どうし れんらく つか
同士の連絡に使います。



ライト

くら けむり
暗いところや煙で見えないと
ころを照らします。

ぼう かぼう 防火帽

ほのお お
炎や落ちてくるものから頭を
まも
守ります。

こきゅうき めんたい 空気呼吸器 面体

けむり す めんたい
煙を吸わないよう面体をつけ
て、背中のボンベから空気を
す せなか
吸って活動します。ボンベ
1 本で活動できる時間は 10 分
〜 15 分です。



しょうぼうたいいん み
消防隊員が身につけるものは
合計で約 20 kg もあります。

きゅうじょたい おも しごと かさい じ こ げんば に おく たす
救助隊の主な仕事は、火災や事故の現場で逃げ遅れた人を助けることです。

きゅうじょしゃ とくちょう 救助車の特徴

クレーン

さいだいやく トン つ
最大約3tのものを吊り上げる
ことができます。

しょうめいそうち 照明装置

くら さいがいげんば
夜の暗い災害現場などを明るく
て照らします。



きゅうじょしゃ
救助車

ウインチ

さいだいやく トン ひ ば
最大約5tのものを引っ張ること
ができます。



きゅうじょ つか どうぐ 救助するときに使う道具



エンジンカッター

かざ たいいん
鍵がかかっているドアを切って隊員が
しんにゆう
進入できるようにします。



空気ジャッキ

せい おも
ゴム製のマットに空気を送り、車など重
いものを持ち上げ、下敷きになった人を
きゅうしゅつ
救出します。



きゅうめい さくはっしやじゅう 救命索発射銃

おわ ぎし と
川の向こう岸などにロープを飛ばして
と のこ
取り残された人やおぼれた人を救出
します。ロープは約100mまで飛ばす
ことができます。



チェーンソー

は こんぞく むくざい とう こ
刃のついたチェーンを高速で回転させ、
金属や木材などを切り、閉じ込められた
人を救出するときなどに使います。



ゆあつしききゅうじょきぐ 油圧式救助器具

じ こ と こ
交通事故などで車に閉じ込められた人
を救出するときに使います。変形した扉
などを開けることができます。



ねつがそうちよくしそうち 熱画像直視装置

かさいげんば けわり にげ おく
火災現場で煙の中にいる逃げ遅れた人
の体温や、室温などの目に見えない熱を
けんち きゅうしゅつ しょうか はんたん
検知し、救出・消火を判断するときに使
います。

きゅうきゅうたい おも しごと びょうき おうきゅう びょういん はこ
救急隊の主な仕事は、けがや病気の人のお急手当をし、病院まで運ぶことです。

きゅうきゅうしゃ つ どうぐ 救急車に積んである道具



さんそ 酸素ボンベ

こきゅう くる 呼吸が苦しい人などにさんそ おく
酸素を送ります。

かんじゃかんし 患者監視用モニター

けつあつ しんぱく はか がめん ひょうじ
血圧や心電図、心拍数などを測り、画面に表示します。

でんどうしききゅういんき 電動式吸引器

つ のどに詰まったものなどをすい と
吸い取ります。

じどうしきしん き 自動式心マッサージ器

しんぱいていし じどう しんぞう
心肺停止の人に自動で心臓マッサージを行います。

ストレッチャー

きゅうきゅうしゃ びょういん はこ
歩けない人などを救急車内や病院内に運びます。

きゅうきゅうたい み つ 救急隊が身に着けているもの

エー・イー・ディー AED (自動体外式除細動器)

しんぞう
心臓がけいれんしたとき
に電気ショックを与え、
しんぞう 心臓のリズムを元に戻し
ます。



きゅうきゅう 救急バッグ

さんそ さんそ
酸素ボンベや酸素マスク
などお急手当に必要な
きぐ やくざい
器具や薬剤などが入って
います。



ヘルメット

まも
頭を守ります。

ゴーグル

マスク

かんせんぼうし 感染防止衣

かんせんぼうし てぶくる 感染防止用手袋

かんせん ふせ
感染を防ぐために身に着けま
す。

しょうぼう しごと け たす しょうぼうしょ かさい ふせ
 消防の仕事は火を消したり、人を助けるだけではありません。消防署では火災を防ぐ
 ためにいろいろな活動（かつどう）をしています。

かさいよぼう 火災予防



たてもの た たてもの ずめん ひつよう しょうぼう
 建物が建つ前には、建物の図面（ずめん）を見ながら、必要な消防
 設備（せつび）などが設置（せっち）されることになっているかを確認（かくにん）し
 ます。建物が建った後は、定期的（ていきてき）に建物（たてもの）に立ち入（た）って、
 かさい きけん かさい お そな しょうか
 火災（かさい）の危険（きけん）がないか、火災（かさい）が起きた（お）ときに備（そな）えて、消火（しょうか）
 ひなん くんれん かくにん
 や避難（ひなん）の訓練（くんれん）がされているかを確認（かくにん）します。

かさいちようさ 火災調査



かさい も かさい げんいん ひがい
 火災（かさい）で燃（も）えてしまったものから、火災（かさい）の原因（げんいん）や被害（ひがい）の
 じょうきよう しら しら けっか しりよう しみん みな
 状（じょうきよう）況（しら）を調（しら）べます。調（しら）べた結果（けっか）を資（しりよう）料（し）として市（し）民（みん）の皆（みな）
 さんに伝（つた）えて、同（お）じような火災（かさい）が起（お）きないよう（お）にしてい
 ます。な ご や し しょうぼうきょく かさい さいげん どうが
 名古屋市（なごや）消（し）防（しょうぼう）局（きょく）では、火災（かさい）を再（さい）現（げん）した動（どう）画（が）を
 ユーチューブ
 YouTube（ユーチューブ）にもア（ア）ップ（アップ）して（して）います。

ちいきぼうさい 地域防災



じしん じしん かせん こうずい
 南海トラフ地震（じしん）などの大（お）きな地震（じしん）や台風（かせん）・河川（こうずい）の洪水（こうずい）な
 さいがい いのち まも ちいき くんれん
 どの災害（さいがい）から命（いのち）を守（まも）るため、地（ち）域（いき）の人（ひと）と訓練（くんれん）を行（い）って
 さいがい そな
 災害（さいがい）に備（そな）えています。

しょうぼうおんがくたい ポッカレモン消防音楽隊



たい えんぎ おんがくたい えんそう
 カラーガード隊（たい）の演技（えんぎ）と音楽隊（おんがくたい）の演奏（えんそう）によるイベント
 ぼうか ぼうさい こうぼう けいはつ
 やコンサート（ぼうか）を通して防（ぼう）火（さい）・防（こう）災（ぼう）の広（けい）報（はつ）や啓（けい）発（はつ）を行（い）っ
 ています。

たばこ

寝ながらのたばこは大変危険です。また完全に消えていないたばこの吸い殻をゴミ箱に捨てると火災になってしまいます。

- ★寝ながらたばこを吸わない
- ★たばこの吸い殻は水につけて、完全に火を消しましょう

ストーブ

ストーブに燃えやすいものが触れて火災になってしまうことがあります。

- ★ストーブに燃えやすいものを近づけない
- ★ストーブの上に洗濯物を干さない

★：注意するポイント

でんきかさい
電気火災

電気機器やつないでいるコードが原因で火災になってしまいます。

- ★電気コードの上に重いものを置かない
- ★たこ足配線にしない
- ★電気コードを束ねない
- ★プラグにホコリが溜まらないように、定期的に掃除しましょう

あそび
火遊び

ライターなどで遊んでいるといつの間にか他のものに燃え移って火災になってしまいます。

- ★好奇心でライターなどを使わない
- ★火を使うときは、大人の人と一緒に使しましょう

ほうか
放火

家の周りの燃えやすいものに火をつけられ、火災になってしまいます。

- ★家の周りに燃えやすいものを置かない
- ★ごみは決められた日の朝に出しましょう

こんろ

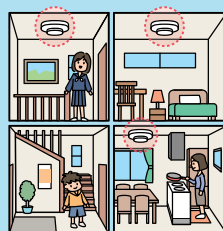
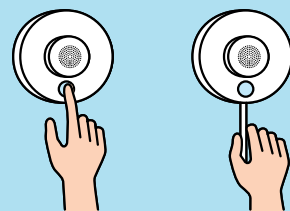
家庭の中で火災の原因となることが多いのが「こんろ」です。特に天ぷら油からの火災が多くなっています。

- ★こんろを使っているときはその場を離れない
- ★こんろの周りには燃えやすいものを置かない
- ★こんろを使用するときは、服の袖口などに火がつかないように気をつけましょう

じゅうたく かさいけいほうき せっち てんけん
住宅用火災警報器を設置・点検しよう！

「住宅用火災警報器」とは、火災により発生する煙や熱を感知して知らせる機械です。

取り付ける場所は、「台所」「寝る部屋」「寝る部屋の階の階段」です。また、いざというときにきちんと警報音が鳴るかどうか、点検してみましょう。

とりつけばしょ
取付場所てんけんほうほう
点検方法

ボタンを押す ひもを引く

すぐに避難する



自分がいる建物で火災が起きたら、まずは避難しましょう。
 煙はかけ足と同じくらいの速さで上に上がっていきます。
 煙を吸わないようにハンカチを口に当てて、低い姿勢で避難しましょう。
 避難するときは、「おはしも」を意識しましょう。

おさない はしらない しゃべらない もどらない

まわりに知らせる



火災を見つけたら、大きな声で近くの人に知らせましょう。
 大きな声が出ないときは、バケツ、やかん、鍋など、大きな音が出るものを棒などで叩いて知らせましょう。
 電話で119番通報するときは安全なところからしましょう。
 もしくは近くのおとなの人に119番通報をお願いしましょう。

119番通報する

119番通報するときは、落ち着いてはっきり話すようにしましょう。

①「火事」か「救急」かをはっきり伝えましょう。

②場所（目印になるもの）を伝えましょう。



③どのような状況を具体的に伝えましょう。

④名前と電話番号を伝えましょう。

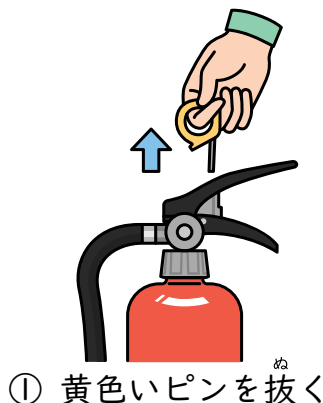


しょうか 消火する

火を消すときは、消火器を使うのが効果的です。

いざというときのために、消火器の使い方を覚えておきましょう。

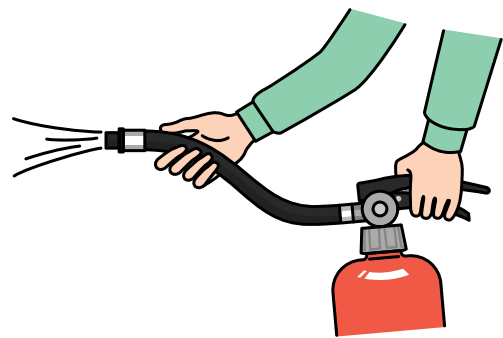
[しょうかき つか 消火器の使い方]



① 黄色いピンを抜く



② ホースを持ち、ノズルを
火元に向ける



③ レバーを強くにぎる

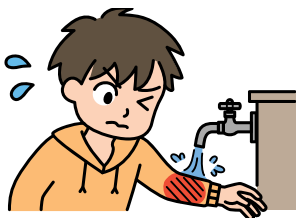
ちゅうい
注意

しょうかき
消火器がなければ水をかけることで火を
消すことができますが、てん あぶら
天ぷら油やストー
ブに火がついたときは、みず
水をかけると火が
大きくなりかえって危ないので、ぜったい
絶対に
水をかけてはいけません。



てん あぶら
天ぷら油に水をかけたことであぶらが飛び散り火災が広がる様子▲

もしもやけどをしてしまったら…



ふく
服の上から水をかけて十分に冷やしましょう。

すぐに冷やすことであっか ふせ
悪化を防ぐことができます。

もし、ふく ひ ふ
服と皮膚がひっついていても、むり
無理にはがさない
ようにしましょう。



ひ
冷やした後は、きれいなガーゼでそっとくるみましょう。

また、水ぶくれができてもしぶさないようにしてください。

くすり
薬はぬらないで、そのまま病院へ行きましょう。

きゅうきゅうしゃ
やけどがひどいときは、すぐに救急車を呼んでください。

1. 反応を確認する



- 周囲が安全か確認してから、倒れている人に近づきましょう。
- 両方の肩を叩きながら、大きな声で呼びかけましょう。

なし
はんだん
判断に迷う

あり

ぐあい
具合を聞く

2. 助けを呼ぶ



- 大きな声で助けを呼びましょう。
- 周りの大人の人に 119 番通報と A E D をお願いしましょう。

3. 呼吸の確認



- 胸とお腹の動きを見て普段通りの呼吸があるか確認しましょう。
- 「動いていない」「呼吸していない」場合や、普段通りの呼吸がなければ、次の内容を大人の人にお願いしよう。

なし
はんだん
判断に迷う

あり

ようす
様子を見ながら、救急車が来るのを待とう

ここからは大人の人にお願いしよう！！

4. 胸骨圧迫

5. 人工呼吸

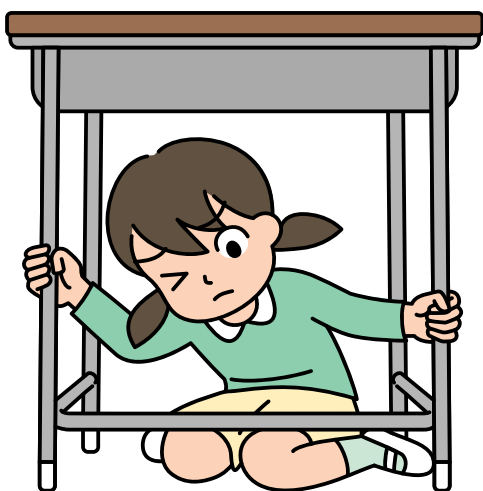
6. A E D を使う

救急隊に引き継ぐまで継続

あわ 慌てず、まず身の安全を確保しよう！

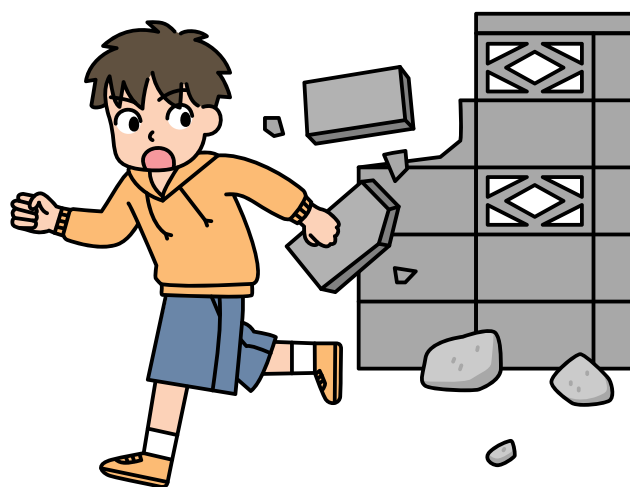
学校にいたら

- 机の下などにもぐって机の脚をしっかりとつかみ身を守りましょう。
- 座布団やカバンで頭を守りましょう。
- 先生の指示にしたがって避難しましょう。



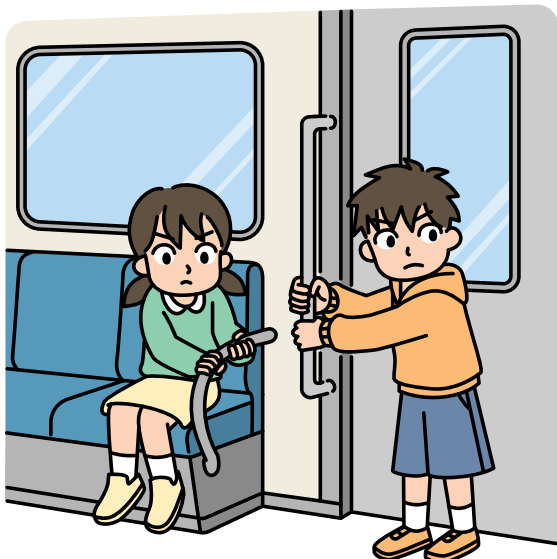
外にいたら

- ブロック塀などが倒れてきたり、建物の看板や割れたガラスが落ちてきたりするかもしれないので、離れましょう。



電車やバスに乗っていたら

- 急ブレーキに備えて、手すりなどにしっかりつかまりましょう。



人がたくさんいるところにいたら

- 慌てて外に飛び出さず、係の人にしがたって、落ち着いて行動しましょう。

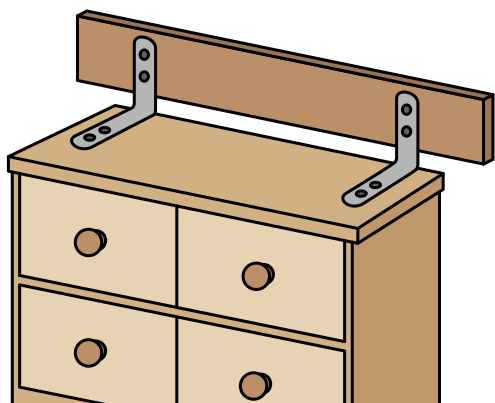


つうがくろ あんぜん
通学路の安全をチェックしておこう



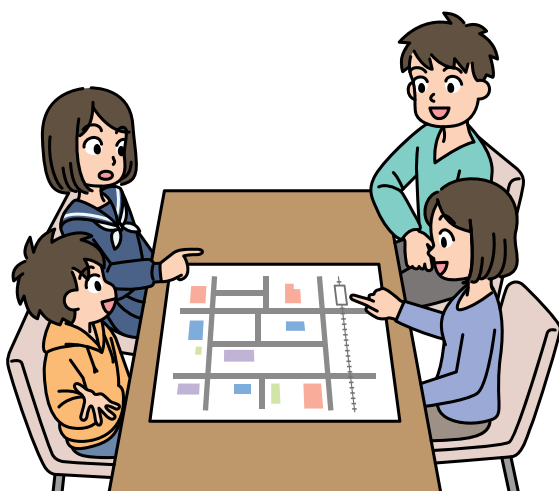
- ブロック塀など倒れてきそうなもの
 - 看板やガラスなど落ちてきそうなもの
 - 道をふさぎそうなもの
- こういうものがないか事前にチェックしておきましょう。

かぐ こてい
家具の固定をしよう



- タンスや本棚などの重いものが倒れてきて、下敷きになったり、けがをしないように家具を固定しましょう。
- 棚の上などに重いものを置かないようにしましょう。

かくにん
家の人と確認しておこう



- どこへどうやって避難するか
- 家族との待ち合わせ場所
- 家族が離れ離れになったときの連絡方法を日頃から確認しておきましょう。

消防団は、「自分たちの住んでいる地域は、自分たちで守ろう」という人たちの集まりです。消防団員の多くは、普段は別の仕事（学生、主婦、会社員など）をしています。しかし、火災などの災害が発生すると、消防署の人と協力して火を消したり、困っている人を助けたりして地域の安全を守っています。

名古屋市の消防団では、女性や大学生も活躍しています。令和7年4月1日現在、名古屋市の基本消防団は4,995名いて、そのうち514名が女性です。また、機能別消防団（大学生消防団）の団員数は112名、そのうち50名が女性となっています。

火災がないときは、地域の人に対してけがの手当てや防火について教えることで地域の安全を守っています。

おも かつどう 主な活動



さいがいたいおう
災害対応

火災、風水害、地震災害などの災害対応を行います。



くんれん
訓練

災害に備えた、消火・救急・救助訓練を行います。



こうしゅう
講習

訓練指導や市民への応急手当の講習などを行います。



しきてん
式典

消防出初式や消防団連合観閲式などへ参加します。

なごやし しょうぼうだん こうせい 名古屋消防団の構成

きほんしょうぼうだん
基本消防団



名古屋市の基本消防団には、18歳から65歳までの人が入ることができます。

きのうべつしょうぼうだん
機能別消防団
(大学生消防団)



名古屋市の機能別消防団は、名古屋市内にある8つの大学の学生が所属しています。

みんなも18歳になったら
消防団に入団して
地域の安全を守ろう！



だんくん だんちゃん

なごやし しょうぼうだん
名古屋市の消防団キャラクター

しょうぼう ビー・エフ・シー
 少年消防クラブ (BFC) とは？

 あいちけんしょうぼう しょうす
 愛知県消防学校一日入校の様子

少年消防クラブは、BFC (Boys and girls Fire Club) と呼ばれています。

少年少女のころから防火や防災についての知識を身につけることで、学校や家庭で起きる火災を減らすことや地域の防災意識を高めることを目的としています。

名古屋市では、主に小学校の委員会として活動していて(注)、夏休みに行われる愛知県消防学校への一日入校に参加して、地震体験や救急体験を通して、防火や防災の大切さを学ぶことができます。

(注) 一部の小学校には委員会がない場合があります

その他にも、消防出初式(毎年1月第2週目の日曜日に実施)や地域で行われている防火・防災イベントで消防について知ることができるので、ぜひ参加してみてください！

 しょうぼうでぞめしき
 消防出初式

 ぼうか ぼうさい
 防火・防災イベント


[問い合わせ先]

名古屋市消防局予防部予防課

〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話番号 052-972-3542